



<インドネシア・リサーチ・レポート>

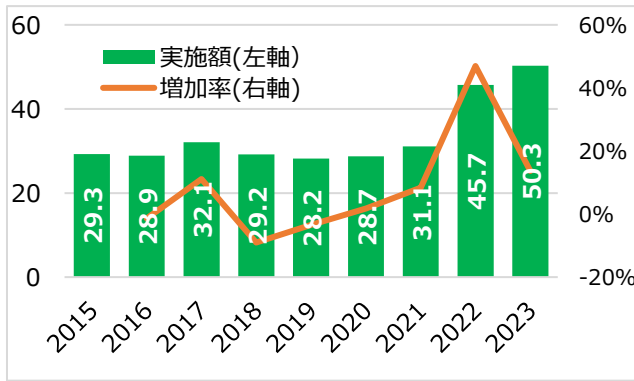
情報提供用資料

2024年3月18日

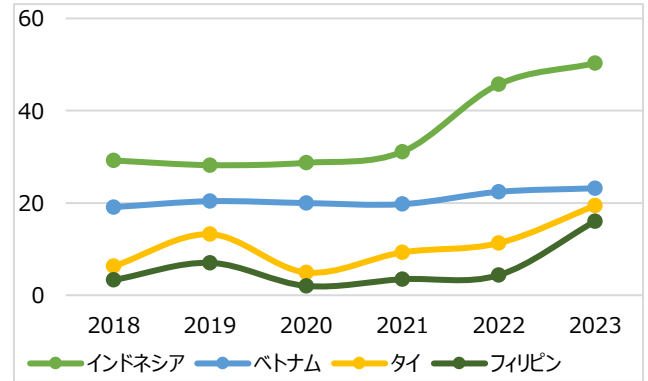
2023年通年の海外からの直接投資が過去最高を更新

インドネシアの投資調整庁(BKPM)によると、2023年の外国直接投資(FDI)実施額は現地通貨ベースでの前年比+13.7%の744兆ルピア(約502.7億米ドル)であり、過去最高を更新した。世界経済の減速、同国選挙後の政策変更のリスクにもかかわらず、インドネシアは引き続き投資家を魅きつける投資先国となっている。

2015~2023年のFDI実施額(10億米ドル)



FDIの推移(10億米ドル)

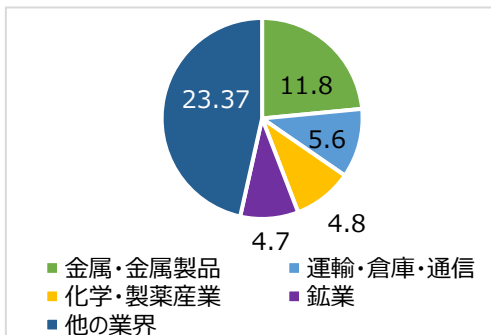


グラフ内 2022年以前の増加率は米ドル換算値の増加率 フィリピンのデータはFDIの認可額、他の3か国については実施額

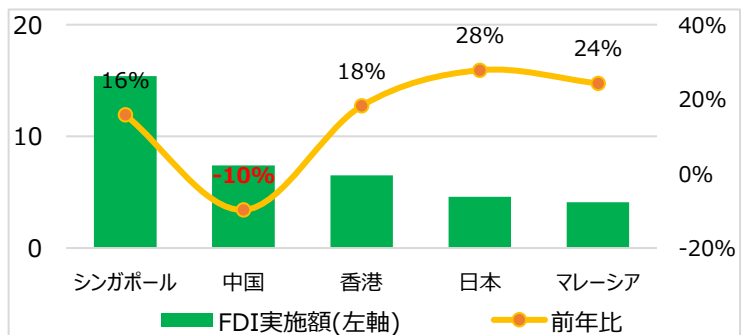
出所：各国の投資または統計管轄当局のデータを基にキャピタル アセットマネジメントが作成

業界区分のうち、金属・金属製品へのFDI実施額は全体の23.4%を占め、118億米ドルに達した。政府は川下産業を強化する政策を実施し、豊富な天然資源を効果的に利用し、国内での付加価値増大を目指している。運輸・倉庫・通信は鉱業に次ぐ2番目で、FDI実施額は約56億米ドルと、前年比で10%近い増加となった(全体の11.2%)。化学・製薬産業は3位で約48億米ドルであった(全体の9.6%)。

業界別FDI実施額(10億米ドル)



FDI実施額の上位5か国(10億米ドル)



出所：インドネシア 投資調整庁 (BKPM)

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



インドネシアへの直接投資を実施した投資主体の所在国では、シンガポールが 1 位で、投資実施額は前年比+16%の約 154 億米ドルであった。中国は約 74 億米ドルで 2 位となったが、前年比では -10%と投資実施額を大幅に減少させた。日本は 4 位で、前年比+28%の約 46 億米ドルであった。

インドネシアは川下産業と環境保護への投資に前向きに取り組んでいる。インドネシアの投資調整庁は 2023 年から 2040 年までに、5,453 億米ドルの投資を呼び込むことを目標にしており、川下ロードマップを策定、主要な商品分野ごとに川下産業を発展させることを計画している。

*為替レート：1 米ドル = 14,800 インドネシアルピア（インドネシア 投資調整庁が 2023 年データで使用したレート）

以上

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。